

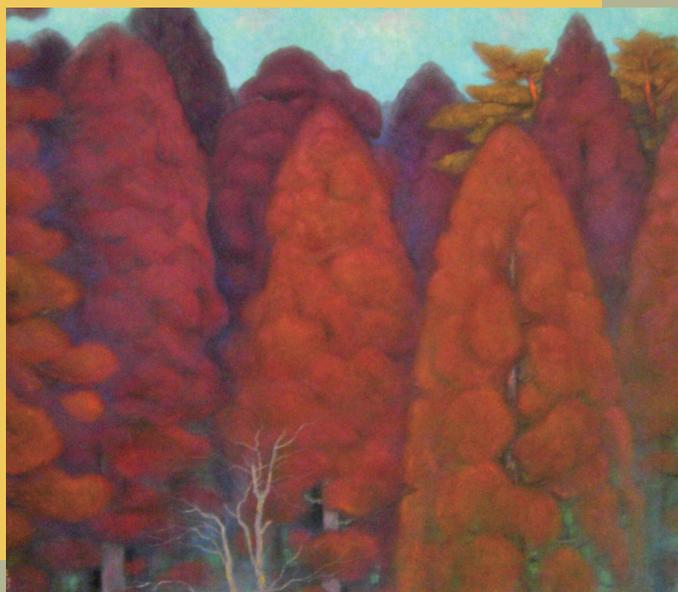
関市所蔵 作家作品展 I



■三浦勝治《収穫の踊り》

関市が所蔵する
コレクションの中から、
関の地域ゆかりの
作家の絵画作品を
中心に展示します
展示予定
武藤彰、三浦勝治など

Seki City collection Exhibition 1



■武藤彰《杉木立》

2025 6/21 |土| → 2025 7/6 |日|

関市役所北庁舎 7階展示室

〒501-3802 岐阜県関市若草通3丁目1-1

開室時間 | 午前10時～午後4時

休室日 | 月曜日、火曜日

観覧料 | 無料

主催 | 関市

問い合わせ先 | 文化課(電話 0575-24-6455)



■遠山清《馬車 兄弟 丘を越へて》



■小川博工《アモルゴスの涙》



■西尾一三《山》

関市所蔵

武藤 彰

むとうあきら

1913 - 2006 (大正2年 - 平成18年)

三浦 勝治

みうらかつじ

1917 - 2016 (大正6年 - 平成28年)

1917年、俳人三浦常次郎(号・山里軒其泉)五男として関に生まれる。1933 - 37年、大阪にて山茂雄氏に従事、図案と絵を学び、1938年、上京 スキヤ橋研究所に学ぶ。1939年、中国に渡り北京に在住、東亜美術研究所の横山央児氏に学ぶ。1940年、北京東亜美術館に出品する「南雲」100号が大使館土田参事官賞を受賞。1941年、張家口、大同雲岡方面に写生行脚。1943年、天津に移住、同志と天津文化協会美術部を結成、公募展を開催。1944年、現地で応召。1946年復員、同志と共に現代美術家協会(現展)を結成。以後、毎年東京都美術館にて全国公募展を開催。1965年、新宿小田急百貨店画廊にて油絵と素描画の第1回個展を開催。1966年、銀座村松画廊にて素描個展を開催。岐阜県関市にて油絵個展を開催。1967年、銀座ヤマト画廊にて油絵個展を開催。1968年、新宿小田急百貨店にて、いかるがの里シリーズ素描淡彩画個展を開催。現代美術家協会展にて、いかるがの里連作が大衆賞を獲得。1969年、ソ連、中央アジア、シルクロード方面に写生旅行。1970年、新宿小田急百貨店にて個展を開催。1971 - 81年、ヨーロッパ6ヶ国、シルクロード・中国に8回取材旅行、その都度個展を開く。1973年、岐阜高島屋にて油絵個展を開催。1979年、紺綬褒賞受賞。1985年、感ずるところあり現代美術家協会代表を辞し同会を引退する。1986年、中国シルクロードのタクラマカン砂漠を巡り、ホータン・カシュガル・ウルムチ・アフガニスタン・トルファンなどをスケッチ取材。1987年、新宿小田急百貨店にて油絵個展を開催。1988年7月、西安・蘭州・敦煌にスケッチ取材、9月、西トルキスタン・中央アジアに取材。11月、岐阜市画廊光芳堂にて個展を開催。1990年、敦煌に取材、新宿小田急百貨店にて個展を開催。1992年、カシガル・パミール高原に取材。1993年、藤沢小田急百貨店にて個展を開催、11月岐阜市画廊光芳堂にて個展を開催。1995年10月新宿小田急百貨店にて個展を開催。1996年4月、岐阜市画廊光芳堂にて個展を開催。1998年3月、新宿小田急百貨店にて個展を開催。2002年10月、関市画廊にて小さな絵展を開催、11月藤沢小田急百貨店にて個展を開催。2005年5月、岐阜市画廊光芳堂にて三浦勝治米寿記念展を開催。2008年、岐阜市画廊光芳堂にて、シルクロード・長良川油絵小品展を開催。2016年7月12日 99歳にて逝去

作品展 I

1913年関 池尻に生まれる。1941年、京都市立絵画専門学校(現・京都市立芸術大学)本科研究科卒業。菊池契月・宇田荻郵に師事した。その後1944年〜1949年に同校の助教授として後進の指導にあたる。1945年、京展市長賞受賞。1958年、京都御苑小御所襖絵「春の野」を描く。菊池契月の死後、1956年に宇田荻郵が創設した画塾白申社の一員となる。1964年、紺綬褒章を受け。1975年、英国エリザベス陛下に献上画「新緑の石庭」を作成。光学会結成。1980年、メキシコ大統領に「御苑春宵」を献上。東大寺華嚴経扉絵「山桜」を描く。1981年、龍安寺新築仏殿天井に衆生救済の「龍」を描く。1987年、ソ連外相へ「石庭早春」を献上。1990年、杉浦家新築観世音能楽堂の舞台に「松・竹」を描く。2006年逝去